



# チャンス

はてしない戦争をのがれて

シュルヴィッツ作 原田勝 訳 小学館

当時四歳のぼくとお父さんとお母さんは、ナチスドイツの空襲とその後のフルシヤフ侵攻により家を追われ、白ロシア、ユーラ居留地、テュルキスタンを転々とする。いつもおなかをすかせていたぼくは、空腹をまぎらすために絵を描いた。こげた木片を木炭がわりに、木の皮を画用紙のかわりに使って。一家三人が生きのびることができたのは、まったくの偶然（チャンス）だった。ユダヤ人絵本作家が自身の厳しい戦争体験を、豊富なイラストとともにユーモアを交えて描く。

